

田富小だより

令和4年度
第7号
10月28日
田富小学校



学びの多かった修学旅行

10月5日～10月7日まで、鎌倉・東京・千葉と修学旅行に行ってきました。10月5日の東京の新規感染者数は4067人と決して少なくはありませんでしたが、保護者の皆様のご理解もあり、古都鎌倉、首都東京をはじめ、学習したことを本物で実感できる場所へ行ってきました。生憎、天候は三日間雨天でしたが、行動に影響するような雨ではなく、なんとか過ごせる程度だったので、肌寒くはありましたが、しっかりと学習することができました。

今回の修学旅行に引率して感じたことがいくつかありました。ひとつは、子ども達がとても熱心に見学をしているということです。

1日目の午前、北鎌倉の寺を見学する班行動でした。ある班と一緒に、鎌倉五山第4位の浄智寺を訪ねました。浄智寺は、周りを山に囲まれ、静寂とともに和の美しさを感じる寺です。山門前の甘露の井、鐘楼門、

本堂と進むとたいいの子どもは「見た」と満足するところですが、この班の子ども達は、奥にある布袋尊や山を掘った祠(やぐらといい、当時の僧侶が修行に使った)なども積極的に見学していました。学校で学んだことを、実際の場所を訪ね、その目で見ることの大切さを、この班の子ども達の見学する様子から再確認した次第です。鎌倉だけでなく、上野の国立科学博物館や第五福竜丸展示館などでも同じように、大変熱心に見学していました。移動するバスの車窓から見える京浜工業地帯のうち、石油やガス関係の大規模な工場が並ぶところでは、煙突から

炎が吹きあがっている様子が見えます。子ども達は、「やばっ、燃えてる」など、普段見るできないものに目を奪われていました。これは、石油精製の際に生まれる余分なガスを無害化するために燃やしているものであると思われるのですが、これ以外にも、港に並ぶ数百という数の輸出車や、巨大なクレーンとコンテナなど、日本の工業を支える巨大な力を実感できたのではないのでしょうか。3日間を通してとてもしっかり学習することができました。感心したことのもう一つは、時間を守れたということです。班行動になると、なかなか時間通りに行動できないのが修学旅行です。たとえば、鶴岡八幡宮で最終4時までには集合とはなっていますが、必ず遅れてくる班があるので

す。子ども達はその理由を話しますが、「それを考慮に入れて行動すればできるはず」と感じるものがほとんどです。ですが、今年の6年生はきちんと時間を守り、しっかり集合することができました。これはとても大切なことです。集団で行動するときは、少なからずルールを守らなければならないものですから、これを常に頭に入れておかなければなりません。ディズニーランドの最終集合時刻まであと5分しかなかったら、「これからお土産を買いにいってくるね」ということにはなかなかならないはず





子ども達は「集団で行動する」ことをしっかり意識して3日間を過ごすことができました。素晴らしいと思います。

しかし、できなかったこともあります。「雨具を忘れてきた」から始まり、いざ使おうという時に、「バスのトランクの大きなバックにまだ入っています」など、旅行をするときに外せない天候のこと、旅程にそった準備など失敗をしながらいろいろと学習することもできたと思います。これからの自分の人生の中で、是非活かして行ってほしいと思います。

最後に余談ですが、今年もいつもの修学旅行にはない特別な時間がありました。国会見学の時、臨時国会中でしたが、代表質問しているところをみることができました。金属探知機のゲートをくぐるなど、議場に入る前の厳重なチェックにも、安全を確実にする徹底的な取り組みを感じたと思います（今回の修学旅行では、ディズニーランド、国会と2か所で金属探知機を体験することになりました）し、議場に入ってからは、私語厳禁・拍手もしてはいけないなどの注意があり、子ども達も大変緊張して入場しました。丁度、岸田首相が答弁している



ところで、数十メートル先にいつもニュースで見ている首相が見えたというのは、きっとこの後出会うことができな瞬間だったと思います。天候にはあまり恵まれませんでしたが、大変学びの多い修学旅行であったと思います。



盛んな秋の教育活動

10月の初旬より、本校に教育実習に来ている学生さんが4名います。2名は、小学校教員免許に必要な単位を取得するために4週間勉強に来ている方々で、もう2名は、日本語指導に関わる実習に来ている学生さんです。4名とも礼儀正しく、一生懸命教育活動を推進しようと熱い志をもって実習に参加していただいています。所属学級は、2-2、5-2に1名ずつで、学年主任の先生に指導を受けています。日本語指導の実習生は、日本語指導の先生に指導を受けながら「学校での教育活動」すべてを学んでいます。休み時間になると、校庭で子ども達と鬼ごっこをしたり、過日の6年生の陸上記録会の練習では、一緒に練習をしたりと、子ども達と汗を流している姿が印象的でした。日々の仕事に追われ、なかなか子どもと一緒に遊ぶ時間がとれない昨今、こうして若い先生方と楽しいひと時を過ごせることは子ども達にとっても楽しい時間に違いありません。実習も終了が近づくと、研究授業など、実際に子ども達を指導する機会が増えてきます。教育現場の実際を学びながら貴重な経験としてほしいと思います。教員志願者が全国的に減少傾向にあることも事実です。こういった若い力が将来の山梨教育を推進していく力になってほしいと切に願っています。

各学年も校外学習や出前授業が盛りだくさんになっています。過日行われたの5年生対象の「ネット安全教室」、4年生は、総合的な学習や社会科で出前授業が数多く計画されています。視覚や聴覚に障害のある方をお招きしての学習会、治水事業の歴史に関する校外学習。そして、過去、山梨県で多くの犠牲を出した日本住血吸虫病に関する授業も計画されています。1・2年生は金川の森や県立科学館への校外学習などが計画されています。修学旅行同様、教室では学ぶことのできない学習ばかりです。本物に触れ、実際に体験して学ぶことの大切さは、実体験の少なくなった現代の子ども達にとってとても大切なことです。実りのある学習活動が展開されると思っています。

※個人情報保護のため、一部写真に加工を加えています。